

# 松江城周辺 (松江市)



塩見縄手



小泉八雲旧居・記念館



松江城



月照寺



武家屋敷



田部美術館



島根県立博物館



月照寺



武家屋敷



田部美術館



島根県立博物館



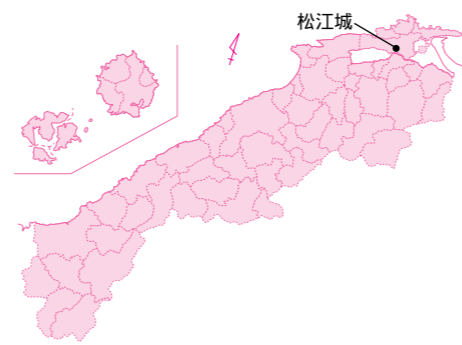
月照寺



島根県立博物館



月照寺



## 松江のシンボル

### 松江城



松江市殿町  
 <指定>国・史跡 重文・建造物(天守閣) 県・工芸ほか  
 城下町・松江のシンボルとして親しまれている。鳥が羽根を広げたように美しいことから、別名「千鳥城」と言う。松江開府の祖・堀尾吉晴が慶長12年(1607)から4年の歳月をかけて完成させた。平地に近い丘を利用して造られていて、実戦本意の設計が多数ある。現存する天守閣は5層6階、高さ30mで、ここからは松江の景色が四方に一望できる。各階には、城と松江に関する資料が展示されている。8時半から4時半(4月29日～8月31日は1時間延長)年中無休。400円。  
 <交通> J R松江駅からバス10分 県庁前下車、徒歩5分  
 <連絡先> 0852-21-4030

### モダンな洋館

#### 興雲閣 松江郷土館



松江市殿町  
 <指定>県・建造物  
 松江城二ノ丸に建つ明治建築の洋館。県内に残る数少ない明治建築で、1907年、大正天皇のご宿泊所としても使用された。正面には車寄せがあり、周囲を豊かな装飾で飾る柱を配した優美な造り。戦後は各種展示会場、市教育委員会庁舎などに転用され、現在は「松江郷土館」として郷土の歴史・民俗資料などが展示されている。8時半から5時。年中無休。大人200円、小中生100円。  
 <交通> J R松江駅からバス10分 県庁前下車、徒歩5分  
 <連絡先> 0852-22-3958

### 県内の文化の発信地

#### 島根県立博物館



松江市殿町  
 <指定>県・絵画ほか多数  
 美術品を中心とした県内唯一の総合博物館。絵画・工芸などの美術品や、仏像、歴史資料が常時展示されているほか、毎年さまざまな特別展や催しが企画されている。県内出身の橋本明治画伯や平塚運一画伯のコレクションは国内有数だ。また歌川広重の浮世絵コレクションは月替わりで展示されていて必見。9時から5時。月・祝日・年末年始休館。常設展大人150円、高大生80円、小中生40円。  
 <交通> J R松江駅からバス10分 県庁前下車すぐ  
 <連絡先> 0852-22-5750

## 松江でもっとも城下町らしい通り

### 塩見縄手



松江市北堀町  
 <指定>市・伝統美観地区  
 小泉八雲旧居から明々庵にいたる500mほどの通りは、かつて中・上級藩士の屋敷が建ち並んでいた所で、現在は保存が図られている。「塩見縄手」の名称はこのほぼ中央にあった塩見小兵衛屋敷に由来し、「縄手」とはもともとあぜ道やまっすぐな道などと呼ばれる。堀沿いの巨松の並木は、当時のまま残っている。  
 <交通> J R松江駅からバス15分 ヘルン旧居前下車すぐ

### ヘルンの面影

#### 小泉八雲旧居・記念館



松江市北堀町  
 <指定>国・史跡  
 「怪談」など数々の名作で日本を広く紹介した、小泉八雲ことラフカディオ・ハーンが1891年にセツ婦人と住んだ家で、ヘルン旧居とも言う。彼が松江で過ごしたのは1年3カ月という短期間であったが、松江を愛したことは文章に色濃く残っている。旧居には八雲の使った文机などの遺品や、関係資料が多数展示されている。9時から5時。200円(旧居) 8時半から4時40分。250円(記念館)  
 <交通> J R松江駅からバス15分 ヘルン旧居前下車すぐ  
 <連絡先> 0852-23-0714(旧居)、21-2147(記念館)

### 閑雅なたたずまい

#### 月照寺



松江市外中原町  
 <指定>国・史跡、県・建造物(高真院・大円庵) 県・工芸ほか、市・史跡(松平家廟所)  
 松平直政が改修し月照寺と改めて以来、松江藩主松平家の菩提寺で、初代直政から9代斉賢までの墓が残る。江戸末期の火災で本堂など中心的な建物は焼失したが、墓所だけはほぼ完全な姿で残っている。境内にある大亀に乗った石碑は、ラフカディオ・ハーンの『怪談』にも登場する。梅雨のころは、境内のあじさいがすばらしい。境内には寺宝を見学できる宝物館(9時から5時、月曜休館)もある。  
 <交通> J R松江駅からバス15分 内中原小学校前下車徒歩5分  
 <連絡先> 0852-21-6056

## 抹茶が楽しめる

### 明々庵



松江市北堀町  
 <指定>県・建造物  
 松江城北の小高い山の上にある、茶室を主とする古庵。安永8年(1779)に松平不昧公の指図で建築、当初は殿町の松江藩家老宅にあったものが、1966年に現在の位置に移転復元された。オーダーメイドらしく、水屋・台所も備える。松江城をはじめ市内が一望でき、眺めだけでもすばらしい。付属の百草亭では、抹茶が安価で楽しめる。松江の情緒にひたるには最適のスポットの1つ。9時から5時。無休。200円。  
 <交通> J R松江駅からバス15分 北堀町 市営塩見縄手下車、徒歩3分  
 <連絡先> 0852-21-9863

## 山林王のコレクション

### 田部美術館



松江市北堀町  
 「山林王」と呼ばれた飯石郡吉田村の田部家23代にわたるコレクションの中から、とくに茶道関係のものを選んで公開された美術館。展示品の中には国の重要文化財クラスの逸品もいくつかあり、茶どころ松江らしい美術館だ。春と秋には特別展示も行われている。9時から5時。祝日を除く月曜・年末年始休館。大人500円、高大生300円、小中生200円。  
 <交通> J R松江駅からバス15分 ヘルン旧居前下車すぐ  
 <連絡先> 0852-26-2211

## 江戸の風景がよみがえる

### 武家屋敷



松江市北堀町  
 <指定>市・建造物  
 塩見縄手のほぼ中央に位置する。徳川300年のあいだに、屋敷替えて住人は変わったが、200年以上を経た建物は、当時の武士の暮らしが今に伝えている。明治の漢学者・滝川亀太郎旧宅である建物は、玄関から座敷まわり、主人の居間あたりはほとんど昔のまま。女性専用の籠、刀だんす、のしめ着物、お歯黒道具などを展示、情緒がかきたてられる。8時半から5時。大人250円(松江城・小泉八雲記念館との共通入場券あり)  
 <交通> J R松江駅からバス15分 ヘルン旧居前下車すぐ  
 <連絡先> 0852-22-2243

## 高麗からきた鐘

### 天倫寺



松江市堂形町  
 <指定>国重文・工芸(銅鐘) 県・絵画  
 初代松江藩主・松平直政が、僧を招き開いた寺。鐘楼には1400年ごろ高麗から本巻P43「本願寺」(参照)伝来した梵鐘がある。この表面には朝鮮鐘独特の繊細で精密な彫刻がなされていて、国の重要文化財に指定されている。  
 <交通> J R松江駅からバス15分 松江温泉駅下車、徒歩15分  
 <連絡先> 0852-21-6488  
 <いにしへ> 6巻P37

## 妖怪が出る？

### 普門院



松江市北田町  
 <指定>県・建造物(観月庵ほか)  
 堀尾吉晴が安来市の清水寺から僧を招き、松江城鎮護の祈願所として開山。「小豆磨ぎ橋で謡曲かきつばたを歌うと怪異が起こる」というラフカディオ・ハーンの『怪談』に出てくる寺としても有名。境内には、ハーンがお茶の手ほどきを受けたという茶席「観月庵」もある。  
 <交通> J R松江駅からバス12分 北堀町下車、徒歩5分  
 <連絡先> 0852-21-1095  
 <いにしへ> 6巻P37

## 不昧公好みの茶室

### 菅田庵



松江市菅田町  
 <指定>国重文・建造物  
 かつての松江藩家老・有沢家の山荘に建つ茶室。1792年、7代目藩主・治郷(不昧公)の指図で建てられたもので、サウナ式の御風呂呂屋も奥に造られている。また向月亭は、不昧公の弟・為楽庵雪川の好みで建てられた茶室。この3棟はいずれも国の重要文化財に指定されている。自然に囲まれた風景もぜひ楽しみたい。  
 <交通> J R松江駅からバス20分 菅田庵入り口下車、徒歩15分

## おたっぴー情報

四季折々楽しめる松江城。秋にはちょっとした収穫が期待できる。馬洗い池の周辺で、ドングリが拾えるのだ。親子で楽しめるし、アク抜きをしてドングリのおかしを作ってみては？(作り方は4巻13ページ参照)